

**日本救急医学会 関東地方会
令和5(2023)年度幹事会 議事録**

日時：令和5年2月18日(土) 13:30~14:20

場所：京王八王子プラザホテル 第1会場(翔王B)

出席者(敬称略)

常任幹事：井上 貴昭(常任幹事長)、畝本 恭子(会長)、根本 学(次期会
長)、中村 光伸、中田 孝明

監事：武田 宗和、河野 元嗣

幹事：出席80名(欠席57名、連絡なし201名)

欠席：浅香 えみ子

事務局：加藤、佐藤(Smart119)

1. 議事録署名人(今回)

井上常任幹事長によって、議事録署名人が指定された。

- ・根本常任幹事
- ・中田常任幹事

2. 新幹事推薦

井上常任幹事長によって、新幹事の推薦が行われた。今回の候補者1名(平山 一郎先生)については、会員歴、会費納入状況等資格について事務局が調査済みであり、先に行われた常任幹事会で承認済みであることが報告され、新幹事1名が承認された。

3. 会員のご逝去

4名の会員のご逝去が報告され、黙祷がささげられた。

《報告事項》

1. 2022年度庶務報告(中村常任幹事)

中村常任幹事より資料に沿って報告された。総会員数1,113名、新会員95名。退会者28名(自然退会は含まず)について報告された。

2020年度・2021年度未納の自然退会は0名となり、2021年度・2022年度未納の自然退会対象の103名(送信エラー・宛先不明18名を除く、85名)へ【再送】予定。

2. 2022年度決算報告(中村常任幹事)

中村常任幹事より資料に沿って報告された。収入7,035,860円、支出4,824,985円、2022年度の収支2,210,875円と報告された。刊行費の減少(投稿数の減少)、会議がオンライン開催となり、会議費・交通費の減少があった。

2023年1月23日にオンラインで武田監査・河野監査・事務局で会計監査を実施した旨を河野監査より報告され、2022年度決算が承認された。

3. 第73回(令和5(2023)年)日本救急医学会関東地方会(畝本会長)

畝本会長より資料に沿って報告された。

600名以上の参加者があり、対面で開催できた。教育講演2つ、シンポジウム3つ、

SOS-KANTO2017報告会+SOS-KANTO全体会議、(「関東災害医療連絡会議」なし)、看護部会シンポジウム、医師部会・看護部会一般演題:19セッション 139演題、ランチョンセミナー5つ(共催4つ、協賛1つ)。

4. 救急隊部会・関東MC連絡会議(畝本会長)

畝本会長より資料に沿って報告された。

・救急隊員学術研究会 8:30~17:20

教育講演、シンポジウム、パネルディスカッション、一般演題:5セッション 31演題。関東MC協議会連絡会議なし。

5. 関東災害連絡会議(根本常任幹事)

根本常任幹事より資料に沿って報告された。委員会として活動なし。

6. 編集委員会(根本常任幹事)

根本常任幹事より資料に沿って報告された。2022年度学会全発表数は237件、発表論文投稿数46編、投稿率は19.4%であった。査読継続中17編あり。

近年、投稿率の低下が残念。せっかく良い症例報告をしており、すべては症例報告から始まると考えているため、幹事の先生方には、発表者へ論文投稿を促していただきたい。

7. 第74回(令和6(2024)年)日本救急医学会関東地方会(根本次期会長)

根本次期会長より資料に沿って報告された。テーマ:『守・破・離』と決定。対面式で2会場開催を予定。座長は若手専門医にお任せし、複数のシンポジウム、ワークショップを設け、活発な議論をしていただきたい。

8. SOS-KANTO委員会・多施設研究委員会(中田常任幹事)

中田常任幹事より資料に沿って報告された。ロードマップ上で現在は二次募集採用が決定。2021年3月に症例集積が終了、最終参加施設は41施設となり、登録症例数は9909例となった。2023年2月29日の2次募集の解析期間終了をもって2017委員会は終了とする。

9. 日本救急医学会学生研修医部会関東支部(中田常任幹事)

中田常任幹事より資料に沿って報告された。通称スマックの関東支部は、研修医・学生向けに救急医療の裾野を広げていくことを目的として様々な活動を行っている。学術集会の翌日に第8回SMAQ関東ブロックオンライン企画『ERってどんなところ?』を予定。2023年夏頃(予定)に、第6回全国医学生BLS選手権大会 関東予選、2023年11月28日(予定)に決勝大会を予定。

10. ホームページ(中田常任幹事)

中田常任幹事長より更新状況が資料に沿って報告された。2022年1月~12月、各月の事務連絡を掲載した。年会費のクレジットカード決済を導入した。一部の会員のメールアドレスが送信エラーになっており、各種お知らせ・ご案内が届いていない方はQRコードからメールアドレス更新をお願いしたい。

(補足) 第72回(令和4(2022)年)日本救急医学会関東地方会収支報告(中田常任

幹事)

収支報告書に修正あり、残金947円は事務局で入金確認済み。

11. 看護部会（浅香常任幹事）

井上常任幹事長より資料に沿って報告された。看護部会シンポジウム テーマ:「コロナ禍に変化した救急看護領域の新人教育と課題」R4年12月10日14時～16時にZoom開催した。参加者27名のうち59%が非会員、経験年数16年以上が主。R4年7月10日に施設代表者会議をZoom開催した。

《審議事項》

1. 2023年度予算案について（中村常任幹事）

2022年度予算・決算を元に2023年度予算を検討したとの説明があった。【収入の部】会費収入は会員80%の納入を見込み、【支出の部】は刊行費は例年通りの150万を計上、会議費・交通費はCOVID-19が5類へ変更もあり、昨年度比50%を計上、電子決済利用料は2022年度予算0円、決算238,782円（6～12月分）、2023年度は40万を計上、その他は例年通りの予算組みであることが報告され、2023年度予算が承認された。

2. 名誉会員の推戴について（井上常任幹事長）

先の常任幹事会で役員経験者の推戴者4名のうち、3名（小野先生、坂本先生、藤島先生）より就任の意思を確認したこと、明石先生（現・一般会員）より辞退あった旨を報告され、承認された。

※次回対象:該当者なし

3. 第75回日本救急医学会関東地方会・第62回救急隊員学術研究会会長の推戴について（井上常任幹事長）

2025（令和7）年開催の日本救急医学会関東地方会の会長について、先の常任幹事会で日本大学医学部救急医学系 救急集中治療医学分野 木下浩作先生を推薦する旨を決定したことが報告され、承認された。

4. その他について（事務局）

1) 会則変更について

（現在）

第 17 条 幹事会は、幹事および名誉会員で構成する。

2 常任幹事長は、学術集会中に幹事会を招集し議長の職務を行う。

↓

（改訂後）

第 17 条 幹事会は、幹事および名誉会員で構成する。

2 常任幹事長は、学術集会会期終了、あるいは、3月31日までに幹事会を招集し議長の職務を行う。

不測の事態により学術集会の開催がない可能性があるため、学術集会の会期を会期中→会期終了、あるいは、3月31日までに召集に変更すると説明が行われた。審議の結果、全員一致にて会則の変更が可決された。

2) 救急隊員の関東地方会入会について

発表者(共同発表者含む)が入会すべきかあいまいな状態となっているため、下記の通り明文化する。

〈救急隊員の入会〉

学術集会の発表者(共同発表者含む)・抄録(地方会雑誌1号):非会員も可
地方会雑誌(2~4号)に掲載する場合:会員資格を有する

※研究会の発表者(共同発表者含む):入会不要

とホームページ入会案内の〈備考〉へ記載する。

入会案内:日本救急医学会 関東地方会 (umin.ac.jp)

救急隊員が地方会雑誌(2~4号)に掲載する場合は、会員資格を有すると明記すると説明が行われた。審議の結果、全員一致にて会則の変更が可決された。

3) 年会費免除について

2月の学術集会で発表予定があり、2023年4月より救急科専門医研修選考医プログラム初年度の場合

→2022年度:免除・2023年度:支払い※現在はこちらの対応

(現在)

救急科専門医研修専攻医はプログラム登録初年度に限り会費が免除となります。

↓

(修正後)

初期臨床研修医、医師免許取得後3年以下は、初年度年会費が免除となります。

とホームページ入会案内の〈備考〉へ記載する。

入会案内:日本救急医学会 関東地方会 (umin.ac.jp)

〈備考〉削除:救急科専門医研修専攻医はプログラム登録初年度に限り会費が免除となります。基幹施設の専門医研修プログラム統括責任者の署名を添えてお申し込み下さい。基幹施設名を添えて事務局までご一報下さい(所属基幹施設確認は事務局で行います)(会則第7条2項,2018年1月28日より改正施行,2019年8月より手続きを簡素化しました)。

・入会届に、「医師免許取得年」を追加

・ホームページ入会案内より削除

なお、救急科専門医研修選考医はプログラム初年度に限り年会費が免除されます。登録施設名を、入会紙の所定欄にご記入の上、年会費免除申請書(会則第7条2項規定)を事務局へメールにてお送りください。

救急科専門医研修専攻医はプログラム登録初年度→初期臨床研修医、医師免許取得後3年以下は、初年度年会費が免除に変更、初年度年会費入会キャンペーンとして免除すると説明が行われた。審議の結果、全員一致にて変更が可決された。

4) 口座の変更について

ゆうちょ銀行の残金をりそな銀行へ移行し、口座を一本化する。りそな銀行へ今回の議事録を提出し、常任幹事長名(井上先生)に名義変更する。

※常任幹事長は3年任期のため、交代時に名義変更する。

- ・りそな銀行口座に移行後、ゆうちょ銀行口座を閉鎖。
- ・入会届に記載の振込口座をりそな銀行口座に修正する。

りそな銀行へ一本化、常任幹事長名に名義変更すると説明が行われた。審議の結果、全員一致にて変更が可決された。

5) 学術集会当日の入会(年会費支払方法)について

QR コード読み取りでクレジットカード決済の支払方法をご用意した。

- ・一般会員 5,000 円(新入会、未納者)
- ・幹事会員 10,000 円(未納者)

例年は現金支払のみだったが、QRコードでのクレジットカード決済も用意したと説明が行われた。審議の結果、全員一致にて変更が可決された。

【事務局からのお願い】各種お知らせ・ご案内が届いていない方はQRコードからメールアドレス更新をお願いしたい。

以上

議事録作成 : 事務局 佐藤ゆい

上記決議を明確にするため、この議事録を作成し、議長及び議事録署名人が次に記名押印する。

令和5年2月20日

日本救急医学会関東地方会 令和5(2023)年度 幹事会議事録

議長 : 井上 貴昭



議事録署名人 : 根本 学



議事録署名人 : 中田 孝明



[捨印]

